

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	鉄筋コンクリート厚肉壁式床壁構造設計指針作成小委員会	主 査 名：今川憲英 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：勅使川原正臣
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築計画および構造計画上、有用なコンクリートの連続性を生かした立体的な鉄筋コンクリート造による厚肉の耐力壁とスラブより構成される構造を対象として、「(仮称)鉄筋コンクリート厚肉壁式床壁構造設計指針 (案)」を作成する。 ・初年度：RC 厚肉壁式床壁構造に関する既往文献の整理・検討 ・2 年度：RC 厚肉壁式床壁構造設計指針 (案) 本文書の作成および検討 ・3 年度：同上解説原案の作成 ・4 年度：RC 厚肉壁式床壁構造設計指針 (案)・同解説の作成	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：今川憲英 (東京電機大学) 幹事：井上芳生 (INO 建築構造研究室) 委員：猪田大介 (日建設計), 清水良太 (TIS&PARTNERS), 鈴木英之 (安藤・間), 高橋智也 (大成建設), 津田和明 (近畿大学), 原 隆 (徳山工業高等専門学校), 平松道明 (大成ユーレック), カストロ・ホアンホセ (琉球大学), 楠浩一 (東京大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	RC 厚肉床壁構造解析モデル検討 WG： 厚肉耐力壁と厚肉スラブならびに基礎梁もしくはマットスラブを含む架構全体の長期及び水平荷重時の応力・変形解析モデルについて検討し、厚肉スラブやマットスラブの断面設計法を検討し、指針 (案) に反映させる資料を得ることを目的とする。	
2016 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：RC 厚肉壁式床壁構造の接合部の構造性能と建物の設計・施工 参加者数：71 名 『構造部門 (壁式構造) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 概ね達成 2. 2016 年度厚肉床壁接合部の構造性能確認実験の実施と解析検討結果
委員会活動の問題点・課題	1. 問題点：2016 年度特になし 2. 課題：厚肉耐力壁と厚肉スラブから構成される架構の応力・変形解析モデルの構築 (継続検討)